

船橋備蓄倉庫運用体制検討会議 議事録

1. 開催日時 平成31年2月16日（土）9時00分～11時00分
2. 開催場所 東京都船橋備蓄倉庫
3. 議長 岸澤武春副会長
4. 出席者 岸澤武春副会長、
世田谷支部：秋山支部長、種子田副支部長、黒澤副支部長、高橋副支部長、
畔上副支部長、岩垂（い）事務長、岩垂（里）事務員
オブザーバー：訓練参加者6名、東京都3名、世田谷区1名
事務局：西澤常務、栗原課長、由井係員、大谷係員
5. 審議事項 (1) 東京都船橋備蓄倉庫運用訓練の視察
(2) 東京都船橋備蓄倉庫の運用体制について
6. 報告事項
 - ・船橋備蓄倉庫内の物資のパレット化完了
 - ・毛布及びカーペットについて、1箱当たりの重量を半分にリパック
 - ・ハンドリフトを各階2台配備完了
7. 今後検討すべき事項
 - 安全確保について
 - ・プラットホームと車両の荷台の高さを合わせるスロープ（可搬式）の必要性について
 - 作業効率化について
 - ・プラスチックカッター等、庫内作業を補助する道具の充実について
 - ・近隣倉庫等からのフォークリフトのレンタル及び必要性について
 - その他
 - ・船橋備蓄倉庫専用の連絡網整備について
 - ・近隣会員等の支部情報を含めたマニュアルの作成について
8. 訓練結果
 - ・リパックの結果、前回と同規模の訓練を半分の時間で終了し、リパックの重要性について確認できた。
※参加者から、前回の訓練時と比較して作業の行いやすさや疲労の軽減等について改善された旨の報告があった。
 - ・事前に作業リーダーを設定した結果、スムーズに荷積みが行われ、作業リーダーの重要性について確認できた。